

(¥1,500-)

BEST AVAILABLE COPY

実用新案登録願

昭和49年4月2日

特許庁長官

斎藤 英雄

殿

フリガナ
1 考案の名称

電気燻香器

2 考案者

フリガナ

住所(居所)

フリガナ

氏名

千葉県船橋市八木ヶ谷町700-162

松

本

峰

外1名

3 実用新案登録出願人

フリガナ

住所(居所)

フリガナ

氏名(名称)

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(676) ライオン歯磨株式会社

代表者 小林 敦

4 代理人

フリガナ

住所(居所)

フリガナ

氏名

電話

東京都文京区西片2丁目3番11号

(2434) 弁理士 端 山 五

東京 (811) 4674 番

(814) 2561 番

5 添付書類の目録

(1) 明細書

(2) 図面

(3) 委任状

6 前記以外の考案者

東京都立川市若葉町1-13-2 けやき台団地

梅沢 恒夫 12-104

力 登

49 037772

明 細 書

1 考案の名称 電気燻香器

2 実用新案登録請求の範囲

電氣的に加熱する発熱体を筐体に具備し、該発熱体によつて薬剤を加熱して揮散させるものにおいて、底部 1 を有する筐体 A が本体 2 と蓋 3 との部分で略々球状に形成され、この球状筐体中に電源部に接続し得る発熱体 4 と、該発熱体 4 に接触して載置される薬剤を含むマツト B の挿入部 5 と、挿入部 5 に載置されるマツト B を発熱体 4 上に固定保持する支持片 6 とを備えると共に、前記筐体 A が常時底部を下として真直に立つように底部 1 にウエイト部 7 を設けて成る電気燻香器。

3 考案の詳細な説明

本考案は殺虫剤、芳香剤、防臭剤などの薬剤を containment 又は吸着させたマツトを発熱体により加熱し、薬剤を気化発散させて殺虫作用その他燻香目的を達成させるための電気燻香器に関するものである。

従来用いられている発熱体を加熱源として殺虫

剤を気化させるようにした電気蚊取器は発熱体上にマット状の蚊取剤を載せて使用するものであるが、就寝時に寝返りなどの際にひっくりかえしたり或いは枕元を歩いた際に足に引掛けたりして蚊体があるころがると蚊取剤が脱落して燻香作用が中絶するし、ひっくり返つて加熱面が下を向いていると床面をこがす心配があり、しかも毛布などの寝具がかぶさるとこげる危険もある等の欠点があつた。

本考案は、これら従来の欠点を適確に除去しようとするもので、誤つて蚊体を転倒させても常時正立に自動的に戻り、或置された薬剤も脱落することなく燻香作用を所定時間適確に継続させることのできる燻香器を提供することを目的としたものである。

また本考案では、薬剤の燻香器へのセットも簡易で保持性も適確で取扱いを容易にし、しかも床面その他寝具などをこがすことなく、且つ加熱中に手で触れる虞れもなく安全性を著しく高められる体裁良好な電気燻香器とすることを目的として

いる。

本案は底部 1 を有する筐体 A が本体 2 と蓋 3 との部分で略球状に形成され、この球状筐体中に電源部に接続し得る発熱体 4 と、該発熱体 4 に接触して載置される薬剤を含むマツト B の挿入部 5 と、挿入部 5 に載置されるマツト B を発熱体 4 上に固定保持する支持片 6 とを備えると共に、前記筐体 A が常時底部を下として真直に立つように底部 1 にウエイト部 7 を設けて成る電気燻香器である。

図示のものにおいて、筐体 A は球状など丸い形状をなす中空の本体 2 部分と蓋 3 部分とに分かれており、この本体 2 には中蓋 8 が取りつけられ、この中蓋 8 の中央には孔があいていて発熱体 4 に臨ましめられ、マツト B の挿入部 5 が形成されていると共に、外壁の一部に形成された平坦な底部 1 にその底部中央附近に重心をおくように底を重くするリング状のウエイト部 7 が内装されている。前記発熱体 4 は取付用のポール 15 に支えられ、熱源となるニクロム線その他のヒーターを含む加

熱板 1 4 から電熱器型に構成し、ターミナル 1 3 及び導電線 1 2 を介して電源に接続されるプラグ 1 1 を備えていて、通電により発熱体 4 を加熱するようになっている。

また蓋 3 は半球状に形成され発熱体 4 上で加熱されたマット B から揮発した薬効成分が飛散しやすいように多数の通気孔 3 D を有し、ヒンジ部 3 1 を介して本体 2 に開閉自在に連結され、さらに発熱体 4 上と載置されたマット B を固定保持する支持片 6 が内壁面に突設されている。

なお、この支持片 6 としてはオ 1 図乃至オ 3 図の具体例に代えてマット状薬剤の周囲を中蓋 8 の孔即ち挿入部 5 で発熱体 4 の加熱板 1 4 から脱落しないようにし浮き上るのを棒状の支持片 6 で押える構成（オ 4 図）としたり、オ 5 図及びオ 6 図のように蓋 3 を閉鎖したときに板バネ 1 6 でマット B を加熱板 1 4 に圧着させたりすることもでき、更に支持片 6 を蓋 3 側ではなく中蓋 8 又は本体 2 に設けることもできる。（オ 7 図）。

更に前記ウエイト 7 としては重心を底面に近づ

けるために重りを用いる場合には円弧状が円板状のものを内底面に取り付けるか、本体 2 に埋設すると発熱体取付け時にも邪魔にならず都合がよいが、下側をカットしたような球状容器の底部 1 の下面側に固定することも可能である。

また前記中蓋 8 は本体 2 と一体成型するか、段部に嵌支させて取外し可能としたり、必要に応じて蓋 3 側に設けることもできるし、要すれば下面側を開けておき必要部品をセットとしたのち下蓋を閉じる構造とすることもできる。

図中 9 は点滅用のランプで中蓋 8 に限らず蓋 3 又は本体 2 に選んで設けられる。10 は通気孔で底部 1 に設けられる。17 は脚、18 はグリップ、19 は保護用のキャップで必要に応じ着色透光性のカバーを用いる。20 は弾性棒材の支持片 6 を取付け用のブラケット、21 は係支片、32 は掛止用の係止部で蓋 3 を本体 2 に閉蓋保持するために設けられる。

しかして蚊取剤などの殺虫剤又は芳香剤若しくは防臭剤から組成される薬剤を含むマット B を発

熱体 4 の加熱板 1 4 上に載置したのち蓋 3 を閉めれば支持片 6 がマット B の上面に対接され挿入部 5 にマット B を固定保持し、マット B 下面は加熱板 1 4 に接触してその発熱体 4 の通電加熱によりマット B 中の薬剤を揮散させて殺虫作用などを行なわせ殺虫器又は芳香器若しくは防臭器として用いられるものであるが、万一誤つて転倒させても球状筐体とウェイト 7 で正立に自動的に戻り薬剤のマット B もそのまま脱落することなく保持され揮散作用を継続できると共に床面や寝具をこがす心配もなく安全に用いられ得る。

本考案は底部 1 を有する筐体 A が本体 2 と蓋 3 との部分で略々球状に形成され、この球状筐体中に電源部に接続し得る発熱体 4 と、該発熱体 4 に接触して載置される薬剤を含むマット B の挿入部 5 と、挿入部 5 に載置されるマット B を発熱体 4 上に固定保持する支持片 6 とを備えると共に、前記筐体 A が常時底部を下として真直に立つように底部 1 にウェイト部 7 を設けたことにより、筐体 A を誤つてころがしたり、倒したりしても迅速且

つ適確に自動的に直立状態に戻り、万一床面の状態が正立に戻りにくい場合でも球状容器であるために発熱体を床面に近づけないで床面をこがしたりすることがないし、受皿を常備する煩雑もなくしかも正立その他の状態でも毛布やふとんがかぶさつてもこがす危険もなく安全性を高められるし、また筐体があるがつつても薬剤が挿入部から外れないで押えられており、飛び出したりすることなく継続してそのまま燻香作用が発揮でき薬剤をその都度セットしなおすことなく薬効効果を適確に期待できると共に、発熱部は筐体中に存在することでやけどする心配もなく体裁良好なガス発生器としての機能を十分発揮できるほか、取扱いも著しく簡便であるなどの実用上の効果がある。

4 図面の簡単な説明

才1図は切断側面図、才2図は蓋開放状態の切断側面図、才3図はその平面図、才4図乃至才6図はそれぞれ他の実施例の切断側面図、才7図は他の実施例の斜面図である。

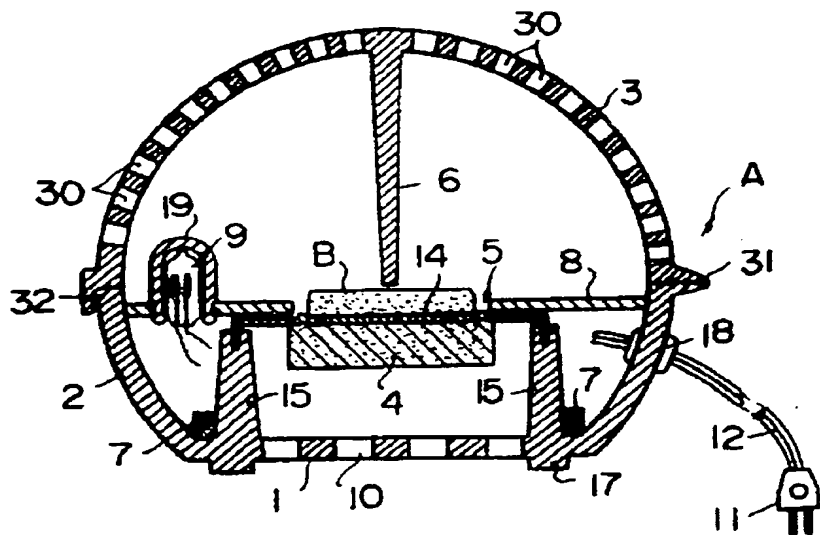
A ... 筐体、B ... マット、1 ... 底部、2 .

・・本体、 3・・・蓋、 4・・・発熱体、 5・・・挿入部、 6・・・支持片、 7・・・ウェイト、 8・・・中蓋、 9・・・ランプ、 10・・・通気孔、 11・・・プラグ、 12・・・導電線、 13・・・ターミナル、 14・・・加熱板、 15・・・ボール、 16・・・板バネ、 17・・・脚、 18・・・グリップ、 19・・・キャップ、 20・・・ブラケット、 21・・・係支片、 30・・・通気孔、 31・・・ヒンジ部、 32・・・係止部。

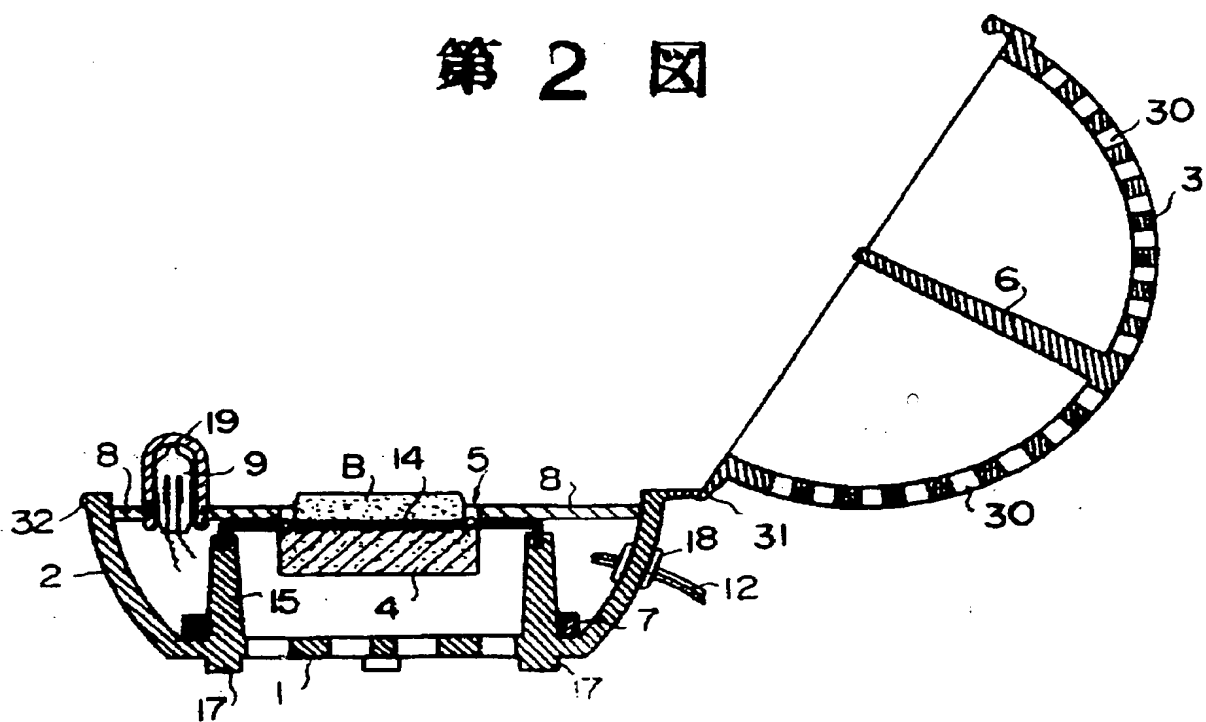
実用新案登録出願人 ライオン齒磨株式会社

代理人 弁理士 端 山 五 十

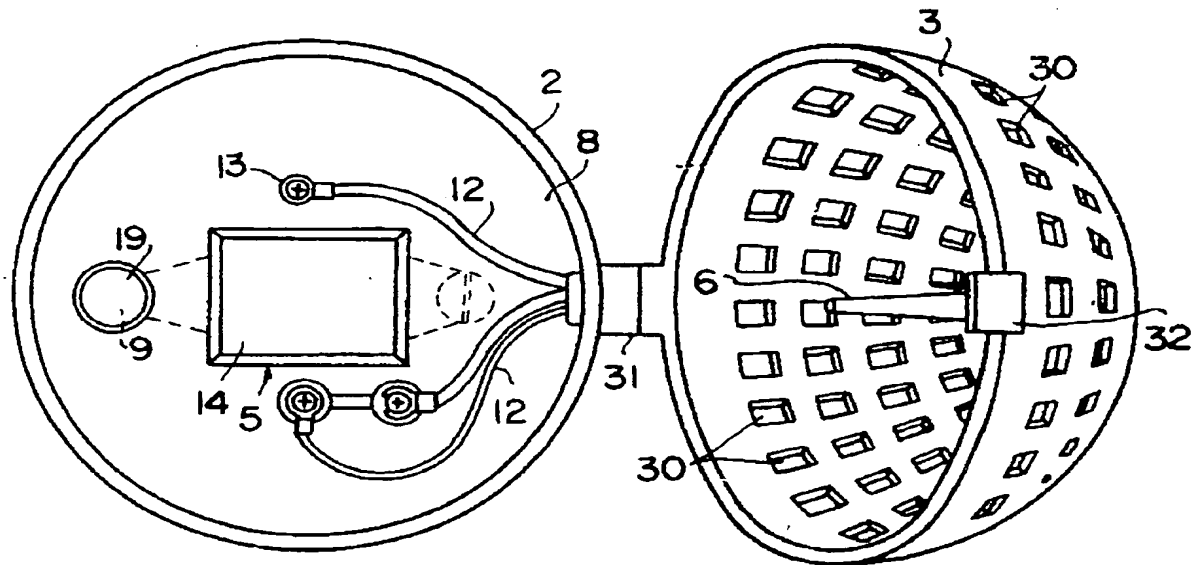
第 1 図



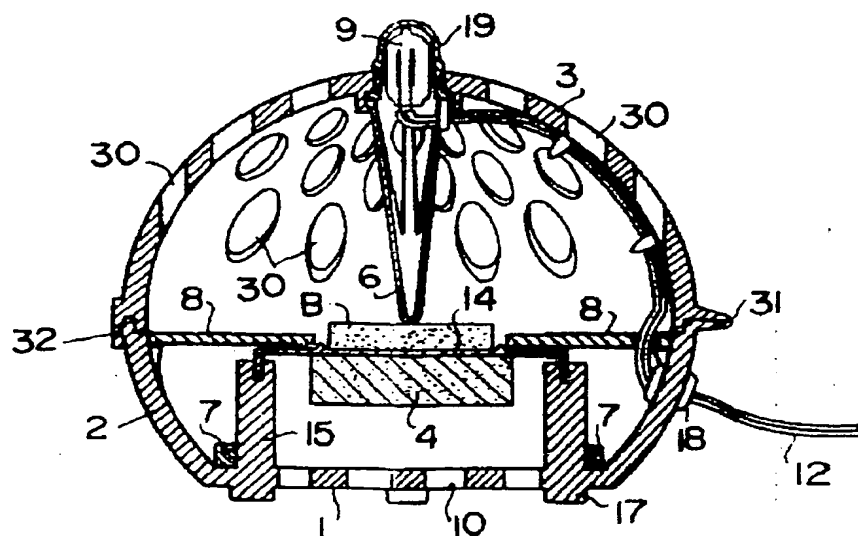
第 2 図



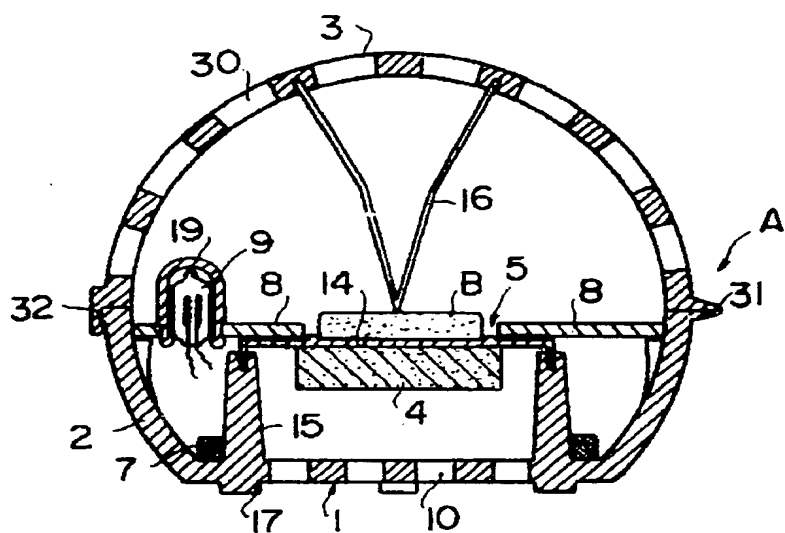
第 3 図



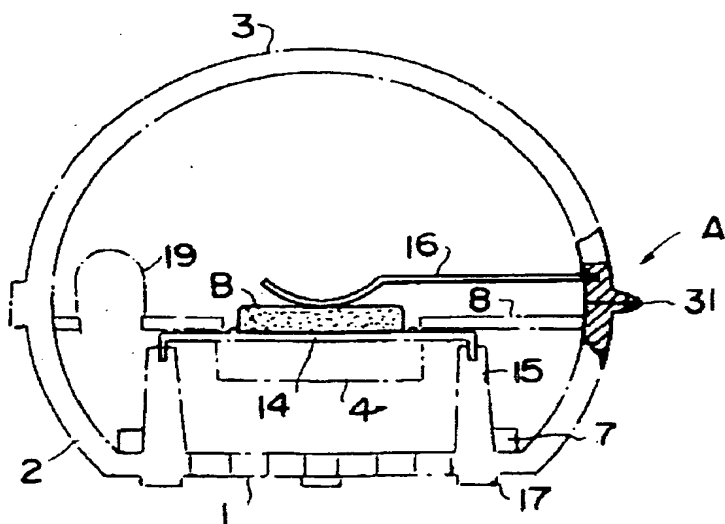
第 4 図



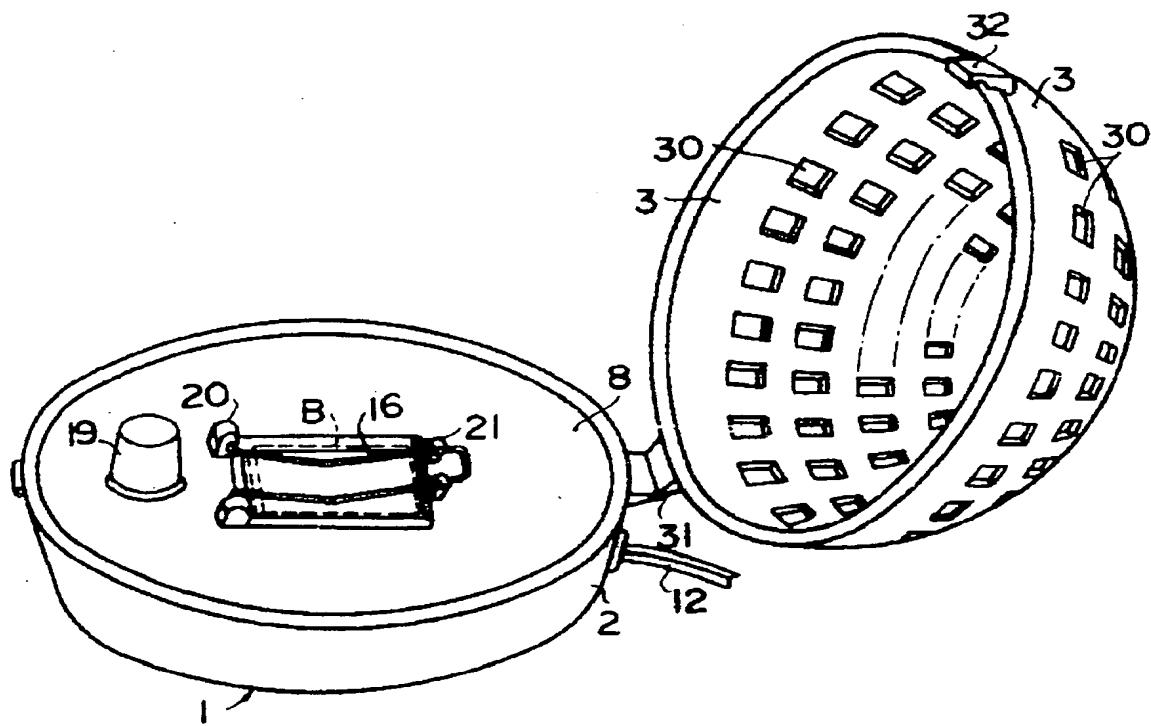
第 5 図



第 6 図



第 7 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☒ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.